



全長約 850 m に渡って整備された「利根川桜づつみ」。等間隔で美しく並んだ 182 本のソメイヨシノが見事な桜のトンネルで出迎えてくれます

この利根川桜づつみを、日本中に、いや、世界中の人に見てもらいたい。そして、利根町の素晴らしいと願いながら、日々、桜の成長を見守っています。」と三谷さん。
春に美しい桜のトンネルをつくりあげるためには、薬剤散布や除草作業、肥料撒きや剪定作業など、一年を通してきめ細やかな管理が必要とのこと。
役割分担を決めて、全員で楽しく元気に活動しているそうです。
このような活動が実を結び、利根川桜づつみは、平成 28 年に、「茨城の宝 125 選」に選定されたほか、毎年桜の季節には、遠方から足を運ぶ観光客やカメラマンが増えており、名実共に「桜の名所」へと成長しました。
関東の開花宣言はもうすぐです。
今年のお花見は、お弁当とカメラを持って「利根川桜づつみ」を訪れてみませんか。

利根川桜づつみ

利根町役場から利根川堤防を上流へ約 400 m
※桜づつみには、専用駐車場およびトイレはございません。(役場の駐車場、トイレをご利用ください)



利根町桜づつみ保存会

現在、利根川桜づつみの維持管理を担っているのが、「利根町桜づつみ保存会」のみなさん。

斉藤さんを中心に、活動の趣旨に賛同して集まった有志や桜の木のオーナーたちにより平成 22 年に発足しました。

そして、現在は、平成 28 年に二代目の会長を引き継いだ三谷博さんを中心に 15 名のメンバーが活動しています。

「二級河川の堤防上に、このような形で整備された桜並木というのは、日本でもなかなか見られない光景だと思います。幹周りが私のウエストぐらいにまで成長した木もあり、ここ数年は見事な桜のトンネルも見られるようになりました。」



現在 15 名の会員が活動している「利根町桜づつみ保存会」では、新規会員を随時募集中。老若男女問わず、桜が好きな方は気軽に参加してください。と、二代目会長の三谷さん



利根町桜づつみ保存会
【お問い合わせ】TEL 090-4013-3733 (三谷)

シリーズ まちひとしごと

018 利根川桜づつみ 利根町桜づつみ保存会



「ここにもっと豊かな景観があればもっと良くなる。後の人にも残せるし、それも大事なことだろう」構想から 20 年の時を経て咲き誇る桜のトンネル。利根町が世界に誇れる”桜の名所”を目指して…

桜の名所「利根川桜づつみ」

利根川の堤防上、利根フレッシュユタウ付近から上流へ向かって約 850 m に渡って整備された 2 列の桜並木が、毎年春になると見事な桜のトンネルとなり、私たちの目を楽しませてくれます。
「利根川桜づつみ」が誕生したきっかけは、さかのぼること 20 年以上前のこと。平成 10 年に、町が町民を対象に募集した町づくりのアイデアから始まりました。布川在住の斉藤喜三郎さん(桜づつみ整備事業研究会(現・桜づつみ保存会会長)が、「ここにもっと豊かな景観があればもっと良くなる。後の人にも残せるし、それも大事なことだろう」と、堤防上に桜並木をつくることを提言されたのがはじまりです。



1. 春になると、桜づつみでは土手一面に広がる菜の花も同時に楽しむことができる 2. 桜づつみ保存会とオーナーのみなさんによる施肥作業の様子。来春も美しい満開の桜が咲きますように…との願いを込めながら

イベント情報

3月～4月の桜の時期に行われる町のイベントをご紹介します。ぜひご参加ください。

利根さくらまつり

4月6日(土)～7日(日)
場所 役場駐車場、イベントホール、多目的ホール

毎年多くの来場者で賑わう「利根さくらまつり」。今年も人気飲食店ブースの出店や催しが盛りだくさん!どうぞお楽しみに!

【お問い合わせ】090-7239-0716 (石橋)



利根の桜の花みこし

3月23日(土)

場所 役場イベントホール、多目的ホール



日比野克彦塾長と一緒に、豪華な花みこしを作ってパレードに出発だ!今年は、人気のキッチンカーも集合します!

【お問い合わせ】企画課 シティプロモーション係 ☎ 68-2211 (内 221)



このほか、4月5日(金)～7日(日)は、利根川桜づつみをはじめ、町内各地をコースとした「駅からハイキング」も開催されます。
【お問い合わせ】企画課 企画調整係 ☎ 68-2211 (内線 224)

当時、国土交通省が堤防の補強工事を進めていたことから、町が国交省に協力を依頼。堤防を約 10 m 拡幅してもらいました。
その後、町民と町、国交省などで「桜づつみ整備事業研究会」を発足し、具体案を協議してきた結果、押付本田から役場前までの堤防上に桜並木を整備し、町民が川と緑に親しみ、人と触れ合える憩いの場にする計画「利根川桜づつみ整備事業」がスタートしました。
住民主導によるまちづくりの一環として、オーナー制度を採用した利根川桜づつみ整備事業では、当初、90 本の桜の木のオーナーを募集したところ、200 件近くの応募があり、大幅に本数を増やして、最終的には 182 名のオーナー(里親)が認定され、平成 17 年 3 月に 182 本の桜の苗木が植樹されることとなりました。



182 名のオーナーそれぞれの思いが込められたオーナープレート